

かたの 市議会だより



平成25年
11 / 1

議会ニュース

市議会の新しい体制がスタート 議会基本条例を制定

交野山から交野市内を望む



就任のごあいさつ
議長 三浦 美代子

この9月議会において、第43代交野市議会議長に就任いたしました。市民に開かれた議会、市民に信頼される議会、そして、活気あふれる議会にむけて、全議員一丸となって取り組んで参ります。

目次

- 2 議会ニュース
- 3-6 一般質問
- 7 委員会審査のあらまし
- 議会役員等
- 8 議会で決めたこと

編集 = 広報委員会 発行 = 交野市議会

市議会の新しい体制がスタート 議会基本条例を制定

議長に三浦美代子議員（公明党）、副議長に坂本顕議員（会派無所属）
監査委員（議会選出）に野口陽輔議員（市民かがやきクラブ）が就任

本会議の動き

第3回議会定例会

今議会は、9月4日から10月1日の28日間を会期として開かれました。

初日に議長選挙を皮切りに、副議長、監査委員（議会選出）、議会運営委員会委員の選出を行いました。

5日に常任委員会委員、派遣議員などを選出し、新体制（7ページ下段）での運営がスタートしました。

6日からは本格的な議案審議が始まり、まず「人権擁護委員の推薦」2件を適任とした後、「平成24年度交野市健全化判断比率の報告」他2件の報告を受けました。

その後、「固定資産評価審査委員会委員の選任」に同意し、平成24年度の一般会計他5特別会計の決算認定の審査のため、決算特別委員会が設置され、各決算認定を付託することを決めました。

次に、「交野市税条例の一部を改正する条例」を賛成多数で可決、「交野市国

民健康保険条例の一部を改正する条例」他4議案を満場一致で可決しました。

他にも、「平成25年度交野市一般会計補正予算（第2号）」を総務文教常任委員会に、「平成24年度交野市水道事業会計決算認定」を都市環境福祉常任委員会に付託しました。

25日～27日には、市政全般に対する一般質問を行いました。

最終日10月1日は、決算特別委員会及び2常任委員会から付託案件の審査報告が行われ、各決算認定が閉会中の継続審査となり、他議案は満場一致で可決しました。

次に、「教育委員会委員の選任」等4議案が上程され、それぞれ満場一致で可決されました。

その後、議員提出議案「議会基本条例の制定」を可決、意見書6本中5本を可決、「議員派遣」を決定し、今議会は閉会しました。（会議結果は最終ページをご覧ください。）

議会トピックス

交野市議会基本条例を制定しました。

市議会では、当議会の果たすべき役割及び運営の基本となる事項を定めることにより、交野市民に開かれた議会を目指すとともに議会の機能強化を図り、もって市政の伸展並びに市民等の生活及び福祉の向上に寄与することを目的に、議会基本条例を議員提出議案として9月議会に上程し、満場一致をもって可決いたしました。

この条例は、二元代表制のもと、議決機関である議会として、地方分権の時代にふさわしい議会を目指し、市民に信頼される活発な議会を築いていくための決意を表すとともに、今後の議会のあり方を定めたものです。

なお、施行日は、平成26年1月1日です。

意見公募手続き結果

平成25年7月4日から8月20日に実施した「交野市議会基本条例（素案）」の意見公募に41件のご意見をいただきました。

実施結果の閲覧場所

市ホームページ

市役所本館2階情報公開コーナー

市役所3階議会事務局

問い合わせ

議会事務局

市民かがやき クラブ

黒田 実・久保田 哲
野口 陽輔

交野小学校周辺 雨水対策について ほか

問 台風18号の豪雨で交野小学校グラウンドは川のようであった。学校周辺の被害状況は？

答 施設の老朽化等の影響による雨漏り、北側校舎窓からの雨水の浸水被害は数カ所見受けられ、また屋外の被害として敷地東側水路の増水による運動場への濁水流入による増水被害、周辺部も冠水した箇所が生じていた。

問 昨年8月の豪雨では教室が浸水したと聞く。今後の対策は？

答 現在、交野市水防災検討業務を民間機関に委託する作業を進めている。その検討結果を踏まえ、対策を講じていきたい。

要望 全市的な予測のもと対策を講じるのは大切であ



交野小学校グラウンドと校舎

問 9月の豪雨に限らず、**郡津消防団車庫付近の道路冠水について**

度々冠水している。水路を拡げる対策は？

答 水路を拡げることは有効であるが、下流も含めての対策が必要である。

問 都市計画マスタープランで郡津駅へのアクセス道路としての整備を掲げている。水路と道路は一体のものである。今後、どのように整備していくのか？

答 駅までの水路は民有地で、水路改修はなかなか進めにくい状況である。道路拡幅というよりは、歩行者の安全対策を重点に整備していきたい。

要望 マスタープランで整備をうたっている。具体的な道路整備・水路対策を。

都市計画道路の見直しについて

問 府の「村野神宮寺線」一部区間が廃止対象となっている。この区間は工業地域内にあり、大型車両の交通量が多いが、歩道整備は

進んでいない。廃止の方向が打ち出されている中、交通安全対策に今後どう対応していくのか？

答 都市計画手続きの中で意見を踏まえながら検討する。

要望 以前、市道私部郡津線との交差点付近で痛ましい死亡事故があった。第2京阪道路へのアクセス道としての整備を本市マスタープランで掲げている。安全対策はこの道路の重要課題である。

その他の質問

- ・倉治警察学校跡地について
- ・星田北地域のまちづくりについて
- ・免除川の雨水対策について
- ・高齢者の緊急警報装置について
- ・学力テストについて
- ・スポーツ文化の振興
- ・幼稚園のあり方

悪化している大阪府の教育環境について

会派無所属 坂本 顕

意見 今年度より学校での授業アンケートが本格実施となったが、これは教員と児童生徒との信頼関係を損なうことが考えられる。口元チェックや教科書採択の一件でもわかるように、最近現場への必要以上の介入が目に見える。市教委として、しっかりした対応とフォローをお願いしたい。

水道事業の統合について

問 一年以上協議してきた、広域水道企業団と大阪水道局との統合案が大阪市議会であつさり否決された。残念に思う。今後の方向は？

答 6月の大阪府戦略会議において「企業団との統合協議は一旦中止、民営化の検討を開始」と決定されたので統合は難しいものと考えられる。

その他の質問

読書活動の充実について。

公明党

新 雅人・友井 健二
三浦美代子

安心・安全のまちづくりについて ほか

インフラ整備について

問 昨年が続いて今年も大雨による被害があった。今後毎年大雨が降るものと想定しての体制づくり予算確保が必要ではないか？

答 社会資本整備への投資については、事業実施の優先度は高いが、一時に拡充を図ることは困難な面もある。被害が発生した場合は、適切に対処していくものであり、市内の連携確保を図り、予算についても国・府の補助金や災害対策基金等の財源を確保することなどして対応していきたい。

空き家対策について

問 前回議会でのような対策が有効か検討していく



大雨により被害のあった石仏の道

パスポートセンター

について

問 旅券発給事務の事務移譲についての進捗は？

答 大阪府議会での特例条例の改正が必要であり、最速で平成26年2月議会での審議が予定されている。周知期間も一定必要になってくるが、できるだけ早い時期に事務移譲が実現できるように調整していきたい。

教育行政について

問 給食のアレルギー対応の取り組みは？

答 現状はアレルギー要因の主食・副食及び牛乳の提供を個別で停止している。新給食センター稼働後はアレルギーに対応した個食の調理室を計画し、アレルギーの要因となる食材の除去食を提供する予定。

問 学校のトイレ改修についての取り組みは？

答 施設の老朽化に対する大規模改修事業の一部として合わせて行うことが早期実施の方策と考えている。

問 いじめ防止対策推進法が9月28日から施行されたが、本市の取り組みは？

答 「いじめ問題対策連絡協議会を置くことができる」と明記されているものの設置義務はない。しかしながら本市においては、これまでからも交野警察署あるいは家庭児童相談所等と連携を図っており、交野市学校警察連絡協議会の構成メンバーとして定期的な情報交換等も行っている。今後関係機関が一体となって取り組んでいく。

妊婦健診費用の助成について

問 交野市の妊婦健診の助成が全国や府の平均より低いが、市の考えは？

答 望ましい基準が定められるとなっており、今後、国の動向を注視し、見定めしていきたい。

その他の質問

- ・子どもの医療費助成について
- ・ピロリ菌検査について
- ・ごみ減量化について

会派無所属 松本 直高

「交野市チャリティーマラソン」について
市民の期待と信頼に
足り得る事業のあり方
について、

問 行政負担額を適当とする根拠について。

答 一切の支出をしなければ参加料の増嵩が想定され、施策目的を達成する為の必要最小限の支出であると認識しています。

問 同規模同様のマラソン大会の実績が無い業者を非公募選定したことに、市長答弁との矛盾もあり、癒着や依存といった強い疑念を感じる。これを払拭するだけの丁寧な説明を求めます。

答 マラソン大会の実績は無いが、他のイベント実績は有ったのでノウハウを有すると判断しました。

問 事業に関する議会・市民への情報開示や説明責任のあり方について。

答 今後の課題として、もう少し丁寧に説明を重ねていくことを検討します。

日本共産党

中上さち子・皿海 ふみ
坂野 光雄

水災害の対策について

ほか

問 今回の交野の水災害の要因は降雨量の増大と相まって、農地の減少による雨水の浸透能力の低下が考えられる。水災害対策として雨水の流出抑制策をすすめるべきと考えるが。

答 全国では水害軽減目的で遊水池や公共施設の雨水貯水槽設置が行われている。交野の今後の水害対策については「水防災検討業務」の終了後に検討したい。

要望 雨水流出抑制策とし



にしゃべ川周辺の冠水

て学校校庭など公共施設の貯留槽設置や民間建物の雨水浸透・貯留施設が考えられる。設置に対する補助も設け推進すべきである。

学校施設「特別教室のエアコン設置」・「トイレの洋式化」について

要望 過酷な夏の暑さの中でも、学習に集中できる環境づくりとして普通教室に続く特別教室へのエアコン設置を求める。また、洋式トイレが普及するなか学校トイレの8割は和式のままである。災害時の避難施設となる学校のトイレは誰もが利用しやすい洋式化にすることを求める。

就学援助制度の拡充を

問 雇用者報酬が減少する中で、学用品や修学旅行費

を援助する就学援助制度が重要となっているが。

答 子どもたちの教育機会の均等、貧困格差の固定化を防ぐためにも重要な制度である。

問 受給率はどうか。

答 小中学校の児童・生徒数に対し、平成24年度で14・3%である。

問 受給基準を生活保護基準としていたが、国は生活保護基準の切り下げをはじめしている。この影響が出ないようすべきと考えるが。

答 生活保護基準引き下げの影響が出ないように考えており、検討していきたい。

問 国は、PTA会費、クラブ活動費、生徒会費も援助対象としているが、どうか。また、生活保護基準の1.2倍までの世帯に給食費を援助する考えはどうか。

答 学校教育の環境整備などで多くの課題があり、現時点では難しい。

障がい児への支援の強化を

問 就学前の障がいや発達

については、乳幼児健診の保健指導や、こどもゆうゆうセンターでの療育、子育て支援課の心理発達相談員による相談・支援などが行われている。

小中学生になっても十分な支援を行えるよう、教育委員会に障がいや発達の専門的な相談員を配置すべきと考えるが。

答 小中学生の障がいや発達については、学校や教育委員会と相談を受け、内容により、交野支援学校や福祉・医療の関係機関につき、対応している。教育委員会での専門相談員の配置は難しく、関係機関との連携を進めて対応したい。

要望 学齢期の支援を強め、幼児期から成人まで、一貫した支援を行う体制づくりをすすめてほしい。

その他の質問

- 一、農業振興について
- 一、給食の食器具について
- 一、生計援助資金について

地域活性化について

会派無所属 片岡 弘子

問 「市長の戦略」について、地域の活性化という観点から戦略の推進の成果と今後の展望についてお聞きします。

答 交野にあるものを活用しながら、みんなが活躍し、なるべく費用をかけずに活力を生み出すことを基本的な考えとしている。まちと人が元気に輝く施策を推進してきた。

展望として、交野のまちおこしを目指した交野おひめ大学を開校した。

問 交野の自然アートをテーマに、12月に開催される交野カンヴァスは、地域の活性化も期待されるが、その目指している効果についてお聞きます。

答 芸術家や来訪者の方々に都市近郊の森のすばらしさを知っていただく機会となり、観光資源化を視野に入れたと考えている。

交星クラブ

浅田 耕一
前波 艶子

市政運営について

ほか

市政運営について

歳入の確保について

問 平成24年度の決算状況を見ると、一般会計においては、将来に備えた基金積み立てができるほど改善された。これは歳出の見直しはもちらんのこと、歳入面、とりわけ市税収入においても、努力されていると思われる。市としての取り組みは。

答 本市といたしましては、税負担の公平性を常に念頭に置き、滞納管理システムを利用したきめ細かい滞納整理事務を積極的に進めている。結果、大阪府下でも現在5位の徴収率となっている。

問 税以外の歳入方策として、昨年、注目されているふるさと寄附について、本市の取り組みは？

答 現在、市のホームページにふるさと寄附にかかる特設のページを設け、市内外を問わず、周知を進めている。本市としての特色は、まず市の特産品であるブドウやはちみつ、そしてお酒などを一定額以上の寄附者に贈呈している。また、寄附の用途に関しても、指定しない項目も含めて、7つの項目を設け、有効に活用させていただいている。しかしながら、他市では、自治体が主催するイベントでふるさと寄附のPRに努めたり、或いは寄附額に応じた、特産品のセットを贈呈するなど、様々な手法によ

り寄附の獲得に力を入れており、本市もそういった先進の事例を参考にしながら、より交野の魅力を感ぜ、寄附という形で交野を応援いただけるように努めていきたい。

教育行政について

子ども110番について

問 犯罪や事故から子どもたちを守るために、様々な見守りに関する取り組みが、各地域でなされている。こども110番の家もその一つで、最近では多くの家庭や事業所で取り組みを示す旗が掲げられているが、その取り組み状況は。

答 子どもたちを事件や事故から守るために、市内1千899か所の一般家庭や事業所でこども110番の旗を掲げていただいている。実際、過去に下校途中の女子小学生が痴漢から逃れるために、旗を掲げる家庭に逃げ込み、大事に至ら

なかったという事例もある。また、この取り組みが全市的に広がりを見せ、多くの家庭や事業所で旗を掲げることにより、犯罪の抑止効果につながることも考えられる。しかしながら、いざ子どもたちが逃げ込む際に、旗を掲げている家庭にも関わらず、不在のために逃げ込めなかったということも懸念いたしており、子どもたちに対し、校区探検などの授業において、地域やPTAの皆様の協力を仰ぎながら、こども110番の家の旗を掲げる家庭や事業所の案内を行っている。



こども110番の家

魅力あるまちづくりについて

会派無所属 兼田 龍洋

問 市内のまちづくり活性化は当然のこと、市外の方に対しては交野の魅力をPRし定住促進等に繋げていく必要がある。近年、シティセールスプランを策定している自治体も増えてきている中、本市として魅力を創出できる街づくりを進めていく上でシティセールスプラン策定を検討されてはどうか。

答 本市は、厳しい財政状況の中、教育環境の整備や子育て支援の施策に取り組んできている。これらの施策は魅力ある交野の創造に寄与するものと考えており、子育て世帯の誘致にも繋がると考えている。今後は、情報発信の重要性を認識しつつ市内外に発信できる仕組みを検討していきたい。

委員会審査のあらまし

総務文教常任委員会

(9月12日)

平成25年度交野市一般会計
補正予算(第2号)を可決

▼概要 子ども・子育て支援新制度に係る電子システム構築等、並びにちびっこ広場及び都市公園の遊具改修等にかかる補正。

▼主な質問

問 補助事業により保育士等処遇改善に助成を行うが、民間保育所のすべての保育士が処遇改善を受けることができるのか。

答 民間保育所からの申請により交付するものであり、すべての民間保育所から既に申請が出されているため、すべての保育所が処遇を受けることとなる。

問 ちびっこ広場等の遊具更新にあたって、今まで設置されていた遊具と同等の遊具を設置するのか。

答 原則として、現状設置されている遊具と同等の遊具を設置する予定である。

要望 遊具設置の際は、区長やこども会の意見やニーズの把握を行うとともに、今後更なる遊具整備を要望

する。

▼討論 公園遊具の更新など、市民に必要な事業の提案があり、全体として賛成するが、保育システム委託料では、子ども・子育て新制度そのものが、保育の公的な責任を後退させるものであり、多くの問題があると考ええる。

今後、市として国に対し、十分な検討と説明が尽くされるまで、この子育て支援の新制度を導入すべきでないということ強く求めていただき、交野市でも現在の保育水準を守り、向上させていくための努力を願い賛成する。

▼結果 可決(満場一致)

都市環境福祉常任委員会

(9月12日)

平成24年度交野市水道
事業会計決算を認定

▼概要 総事業収益13億8,955万8千円・事業費用12億2,268万9千円・純利益1億6,686万9千円。

▼主な質問

問 生活保護世帯で水道料金の滞納があった場合並びに集中豪雨で床上浸水等の被害にあわれた方が、泥を洗い流す等の後処理で水道水を利用した場合の減免措置は。

答 福祉減免については、

本来、一般行政が行うもので、水道料金は受益者負担の原則でなじまない。また、集中豪雨による災害の後処理に利用した水道料金減免措置も、福祉減免同様に、水道事業として講じるものでないと考える。

要望 生活保護世帯で水道料金が生活を圧迫する可能性があり、また、集中豪雨等の災害の後処理で利用した水道料金を減免している自治体もあるので、福祉減免及び被災後使用した水道料金の負担軽減を検討してほしい。

▼結果 認定(満場一致)

議会役員と各委員会委員 ◎…委員長 ○…副委員長

議長：三浦美代子	副議長：坂本顕	監査委員(議会選出)：野口陽輔
議会運営委員会	◎黒田実・○新雅人・坂野光雄・前波艶子	
総務文教常任委員会	◎浅田耕一・○久保田哲・新雅人・片岡弘子・坂本顕・松本直高・皿海ふみ・黒田実	
都市環境福祉常任委員会	◎友井健二・○兼田龍洋・中上さち子・坂野光雄・前波艶子・三浦美代子・野口陽輔	

議会選出の派遣議員・委員

四條畷市交野市清掃施設組合議会議員	新雅人・松本直高・兼田龍洋・坂野光雄・浅田耕一・久保田哲
北河内4市リサイクル施設組合議会	皿海ふみ・前波艶子
交野市農業委員会委員	中上さち子
東部大阪治水対策促進議会協議会委員	友井健二・片岡弘子・黒田実
片町線複線化促進期成同盟会委員	片岡弘子・野口陽輔
交野市山地対策協議会委員	松本直高・中上さち子・皿海ふみ・浅田耕一・三浦美代子・久保田哲・黒田実
淀川左岸流域下水道整備促進期成同盟会委員	友井健二・新雅人・兼田龍洋・坂野光雄
交野市都市計画審議会委員	友井健二・松本直高・坂野光雄・前波艶子・久保田哲
交野市基本構想審議会委員	新雅人・片岡弘子・兼田龍洋・皿海ふみ・浅田耕一・久保田哲

平成25年第3回議会定例会（9月4日～10月1日）

案 件 名		本会議結果
選1号	交野市議会議長の選挙について	当選
選2号	交野市議会副議長の選挙について	当選
議76号	監査委員の選任について	同意
	交野市議会運営委員会委員の選任について	選任
	交野市議会常任委員会委員の選任について	選任
選3号	北河内4市リサイクル施設組合議会議員の選挙について	当選
選4号	四條畷市交野市清掃施設組合議会議員の選挙について	当選
	交野市農業委員会委員の推薦について	推薦
	議会選出の派遣委員の選任について	選任
	議席の指定について	決定
諮3号	人権擁護委員の推薦について	適任
諮4号	人権擁護委員の推薦について	適任
報14号	平成24年度交野市健全化判断比率の報告について	報告
報15号	平成24年度交野市下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報告
報16号	平成24年度交野市水道事業会計資金不足比率の報告について	報告
議61号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意◎
議員8号	決算特別委員会の設置について	可決◎
議62号	平成24年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	継続
議63号	平成24年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議64号	平成24年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議65号	平成24年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議66号	平成24年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議67号	平成24年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議68号	平成24年度交野市水道事業会計決算認定について	認定◎
議69号	交野市非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議70号	交野市税条例の一部を改正する条例について	可決○
議71号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議72号	交野市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決◎
議73号	交野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議74号	平成25年度交野市一般会計補正予算（第2号）について	可決◎
議75号	平成25年度交野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	可決◎
議77号	教育委員会委員の任命について	同意◎
議78号	財産の取得について（消防救急デジタル無線設備の購入）	可決◎
議79号	訴えの提起について	可決◎
議80号	平成25年度交野市一般会計補正予算（第3号）について	可決◎
議員9号	交野市議会基本条例の制定について	可決◎
議員10号	「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書の提出について	可決○
議員11号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出について	可決◎
議員12号	大規模地震等災害対策の促進を求める意見書の提出について	可決○
議員13号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書の提出について	可決○
議員14号	大阪府立公衆衛生研究所の府立直営での発展をもとめ、独法化するための関係条例を慎重審議することを求める意見書の提出について	否決
議員15号	大阪府高齢者住宅改造助成事業の復活を求める意見書の提出について	可決○
	議員の派遣について	決定

※選は選挙、議は議案、諮は諮問、報は報告、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しく下さい
 ～平成25年第4回議会定例会の予定～

12月2日（月） 本会議
 12月16日（月）～18日（水） 本会議（一般質問）
 12月24日（火） 本会議（委員長報告・採決）